



●Vol.30号 2009年12月3日発行

県政・県議会報告

県議会議員 **大山しのぶ**  
ニュースレター



■編集・発行／やしおマメ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-18 TEL.048-994-6000

## 9月定例会(9月24日から10月15日)の報告

# 380億5,392万9千円の補正予算可決。

これまで埼玉県では平成21年度当初予算及び補正予算を「緊急経済対策」として、「県民生活を守るセーフティネットの充実」と「県内経済の活性化」に重点的に取り組んできました。昨年からの引き続く経済不況は最悪期は脱したとの見方もありますが、7月の県内有効求人倍率が過去最低を記録するなど、予断は許しません。そこで、9月定例会では、その取組を更に強化するため、県民の安心・安全を高める施策や少子高齢化社会へ対応する施策、中小企業支援や次世代への投資に資する施策を中心に補正予算が編成されました。

この結果、一般会計の補正予算額は、380億5,392万9千円となり、既定予算との累計額は、1兆8,145億3,215万2千円となります。

その主なものは、次の通りです。(右ページに関連記事)

### 「緊急借換資金」で 中小企業資金繰りを支援

景気回復の動きは中小企業の現場にはほど遠く、経営者の方々からは、業績が回復せず資金繰りが相変わらず厳しいところにあります。そこで、今年度末までの期限措置として「緊急借換資金」を新設されました。現行の借換資金は県の制度融資のみが対象となっていますが、これを信用保証協会の保証付融資全般に拡大します。また、融資期間を7年から10年に延ばすとともに、融資限度額も8,000万円から1億5,000万円に増やします。これにより、月々の返済額を減少させ、中小企業の資金繰りを支援します。(詳細は県のホームページをご覧ください。)

### 安心・安全のための 「基金」や事業も新設

「埼玉県私立高校生修学支援基金条例」は、経済的理由により修学が困難な私立高等学校の生徒の教育機会を確保するため、国からの交付金を受け、新たに基金を設置するものです。

「埼玉県自殺対策緊急強化基金条例」は、県及び市町村における自殺対策の強化を図るため、国からの交付金

を受け、新たに基金を設置するものです。また、新型インフルエンザ対策として、抗インフルエンザウイルス薬(リレンザ2,520,000プリスター)及び感染防止用マスク(N95マスク748,850枚)も備蓄されます。その他、大規模災害時の対策活動の中核として機能する危機管理防災センターについては、首都直下地震の発生など想定される大規模災害に備え、いよいよ建設に着手します。また、産業振興策として、産学官連携による次世代型自動車開発の研究委託に7000万円計上し、中小企業の電気自動車やハイブリッド車関連事業への参入を促すものや、県産業技術総合センターの試験研究機器や高等技術専門学校など教育機関の機械設備の更新に計11億9000万円も予算措置されています。

景気・雇用情勢の本格回復への道のりは依然として厳しい状況が続いています。大山しのぶ県議は、今後も事業の推移とその効果を注視し、県民生活の向上にさらに努力して参ります。



# 大山しのぶ県議は、 県民生活の向上に向け、 引き続き努力をつづけます。

## 9月補正予算の主な事業

### ■安心・安全の実現

- 社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金、介護基盤緊急整備等臨時特例基金の積み立て…**84億7,165万1千円**(※シラコバト長寿社会福祉基金へ積み立て)
- 社会福祉施設等の耐震化、小規模特別養護老人ホーム等の整備、既存施設のスプリンクラーの整備に対する助成…**32億3,613万4千円**
- 私立高校生修学支援基金の積み立て…**10億7,600万8千円**
- 自殺対策緊急強化基金の積み立て…**3億6,181万6千円**
- 離職者に対する住宅手当の支給等…**2億940万9千円**
- 危機管理防災センター(仮称)の整備…**1億4,956万2千円**
- がんセンター施設用地の取得【病院事業会計】…**17億7,783万7千円**

### ■少子高齢化社会への対応

- 放課後児童クラブの設置促進(30か所)…**3億円**
- 地域子育て支援拠点の設置促進(6か所)…**6,000万円**

- 児童福祉施設等の環境改善に対する助成等…**5億129万7千円**
- 特別養護老人ホーム等の開設準備経費に対する助成…**8億6,280万円**

### ■みどりと川の再生、地球温暖化・省エネ対策

- 省エネナビの家庭や事業所への貸与や県有施設への設置等…**2,460万6千円**
- 地域グリーンニューディール基金の積み立て…**8億4,423万8千円**(※さいたま環境創造基金へ積み立て)
- 森林整備地域活動支援基金の積み増し…**2,007万3千円**
- 森林の気象害、獣害の調査に対する助成…**480万円**

### ■中小企業の支援、次世代への投資

- 緊急借換資金の創設債務負担行為の設定  
実施期間:平成22年3月まで対象:信用保証付融資  
融資期間:10年以内(据置1年以内)限度額:1億5,000  
※詳細は県のホームページをご覧ください。
- 産学官連携による次世代型自動車開発のための研究委託…**7,000万円**

## P I C K U P Pick Up/ピックアップ

### ハツ場ダムは何故、必要か? 埼玉県にとって治水と利水に不可欠です。

鳩山政権がハツ場ダムの建設を税金の無駄遣いとして、中止したことは埼玉県には波紋を拡げています。

そもそも河川の流水は、「水利権」で守られています。これは河川法に基づく「河川の流水を排他的に使用できる権利」で、水道水、工業用水、農業用水、発電などの各利用者が河川管理者の許可を得て一定の水量を使っています。水利権には「安定水利権」と「暫定水利権」がありますが、「暫定水利権」は、河川の水量が豊富なときにだけ取水できる非常に不安定な権利です。

今、ハツ場ダムの事業参加と引き換えに、埼玉、東京、千葉、茨城、群馬の5都県は、利根川水系の「暫定水利権」得ています。とくに埼玉県の暫定水利権の割合は平成20年4月で約29%と、関東では一番高い割合です。(関東平均は20%)この「暫定水利権」はダムの完成によって、はじめて「安定水利権」となります。埼玉県としては水道水を安定的に供給するために、ハツ場ダムの完成による安定水利権の確保が重要なわけです。

また、国土交通省は、利根川が決壊したとき1箇所が決壊が決壊がもたらす最大の被害額は、埼玉県だけでも約17兆円に達すると想定しています。ダムによらない治水対策を行った場合、千葉県の利根川河口部から群馬県のハツ場ダム建設箇所までの約240キロメートルの区間において、河川の拡幅や掘削が必要です。このた

めには用地買収による多くの家屋移転や橋梁の改築などを伴うことから、膨大な費用や時間がかかることが予想され、なかなか困難なことではないかと推測されています。

既にハツ場ダムの総事業費4600億円の内、21年3月末で3215億円の予算が執行され、事業費ベースで約70%が完了。平成27年度には完成し、利水、治水の効果が発揮されることになっています。

このため、中止するならば、代替案としては、基本的にハツ場ダムと同等以上の利水、治水の効果があと6年で得られ、事業に係る負担がハツ場ダムより少ないことが前提となりますが、今のところその代案は示されていません。

ハツ場ダムの建設が国と関係都県との共同事業として進められてきたので、地元の住民や1都5県、流域の市町村との話し合いを行ってから、方針を決定するのが筋ではないかと怒りの声もありますが、埼玉県として、中止を容認できないのはこの利水・治水に本質があるのです。



### 心がけましょう。 家庭で出来る インフルエンザ 対策

## 新型インフルエンザ感染防止策

- ①帰宅後や不特定多数の者が触るものに触れた後の手洗い・うがいを日常的に行うこと
  - ②感染者の2メートル以内に近づかないようにすること
  - ③症状が出た場合、マスクを着用し、不要不急な外出を控えること
  - ④日頃からバランス良く栄養を取り、規則的な生活、休養を取り、体力や抵抗力を高め、感染しにくい状態を保つこと。
- 県ホームページで情報をご確認ください。  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/index.html>

埼玉県議会議員

# 大山しのぶ

### 大山忍(おおやま・しのぶ)プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(51歳)●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。●昭和61年から国会議員秘書経験12年。●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。●平成12年、埼玉県議会議員に初当選。(現在3期)●現在、総務県民生活委員会委員、暮らしの安心・安全対策特別委員会委員長、八潮市体育協会副会長を務める。



ホームページもご覧ください。 <http://www.s-oyama.jp/>

〒340-0815 埼玉県八潮市八潮2-18-8  
パークアヴェニューK

TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001